



2022年度 年末年始ご利用実績

～2019年度対比で、国内線は約9割、国際線は約6割まで需要が回復～

2022年度年末年始(2022年12月28日～2023年1月5日)における、JALグループ航空会社便のご利用実績を取りまとめましたので、ご報告します。

国内線は、新型コロナウイルス感染症拡大後、初めて行動制限のない年末年始で、加えて、天候にも恵まれたことで、総旅客数は前年を上回り、また、2019年度対比でも約9割となり、多くの方にご利用いただきました。方面別では、全方面で前年を上回る総旅客数となり、特に東北・北陸方面、関西方面では、前年比で110%を超えました。日別のピークは、下りが12月29日、上りは1月3日となりました。

国際線は、水際対策の緩和や円安によるインバウンド渡航の伸長などにより、総旅客数は前年比で5倍以上となり需要回復の兆しが見え始めています。方面別では、北米線は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復し、東南アジア線も2019年度対比で約74%となりました。また、ハワイ・グアム線は前年比で約21倍のご利用をいただきました。日別のピークは、日本出発は海外への帰国需要も相まって1月2日・1月3日が中心となり、日本到着は1月3日となりました。

【JALグループご利用実績】

※前年比は2021年12月28日～2022年1月5日、FY19比は2019年12月28日～2020年1月5日の実績と比較

1. 国内線 (JAL、J-AIR、JAC、HAC、JTA、RAC各社合計)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比/ FY19比		前年比/ FY19比		前年比/ FY19比
1,235,314席 (2021年度 1,204,365席) (2019年度 1,266,772席)	102.6%/ 97.5%	938,168人 (2021年度 891,610人) (2019年度 1,060,570人)	105.2%/ 88.5%	75.9% (2021年度 74.0%) (2019年度 83.7%)	1.9pt/ ▲7.8pt

2. 国際線 (JAL)

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比/ FY19比		前年比/ FY19比		前年比/ FY19比
182,564席 (2021年度 89,262席) (2019年度 281,215席)	204.5%/ 64.9%	142,419人 (2021年度 27,933人) (2019年度 250,387人)	509.9%/ 56.9%	78.0% (2021年度 31.3%) (2019年度 89.0%)	46.7pt/ ▲11.0pt

詳細につきましては、添付別紙をご覧ください。

以上